

今回は10月の「家庭読書の日」の感想を紹介します！

南郷小学校 令和6年11月

毎月23日は「いしかわ学校読書の日」加賀市の「市民の読書の日」です。それに合わせた「家庭読書の日」の取り組みにご協力いただきありがとうございます。

1年

保護者

読んだ本「どうぞのいす」

ゆっくりと聞きやすく読んでくれました。下の子たちにもわかる内容で聞き入っていました。とっても上手に読んでくれました。

児童

読んだ本「きゅうしょくばんちょう」

ばんちょうがまいにちのこしていたけど、さいごにたべたのがいいとおもいました。

保護者

読んだ本「むしばあちゃん」

歯磨きしないと虫歯がいっぱいできるということを、一生懸命話してくれました。本を通じて、色々なことを学んで欲しいです。

保護者

読んだ本「ぱんつくったよ」

区切る場所が違おうと意味が変わるのが面白くて、ページをめくるために、親子で一緒に考えながら読む時間になりました。

保護者

読んだ本「しんごうピコリ」

信号機は「青・黄・赤」だけで色々なカラーが出て来て、通常の交通ルールとは違ったものがたくさんあった。「答えはひとつ」だけではなく、他にも「考えられる」に通ずるものがあるなど、改めて感じる作品でした。

2年

児童

読んだ本「レジのひみつ」

レジはかくめいによって、しんかしたところがすごいと思いました。

児童

読んだ本「アイスクリーム」

ぎゅうにゅうと、さとうと生クリームとたまごをまぜると、バニラアイスをつくれると、この本でわかりました。

3年

児童

読んだ本「ウサギトカメ」

強いからといって、なまけていたらいけないとわかった。苦手なことでもがんばろうと思いました。

読んだ本「きみはほんとうにすてきだね」

児童

イメージできそうな言い方だったけど、まちがえたり止まったりしてたから、もうちょっと読んだらいいかなと思いました。

保護者

少しつまりながらも、気持ちを込めて読んでくれていました。

児童

読んだ本「はらぺこのさま」

日本一くいしんぼうのとのさまが、月をたべたいと言って、たべ物をつんでいったのがおもしろかったです。わたしも月を食べてみたいなと思いました。

4年

児童

読んだ本「りゅうがあります」

ぼくは大人にもついやっちゃうことがあると分かりました。

児童

読んだ本「しろくまきょうだいのハロウィン」

ポールとノエルのクッキーがおいしそうだなと思いました。ノエルはつかれてねているポールのためにももらったおかしをアレンジしていて、やさしいなと思いました。

5年

児童

読んだ本「タンタンゴはパパふたり」

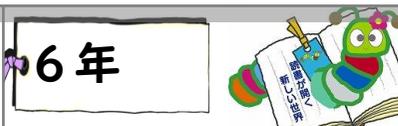
男の子ペンギンどうしだと産まれないときに、飼育員さんが育ててもらえないたまごを、たまごができない男の子ペンギンどうしにわたして、子育てできるようにした思いやりがすてきだと思いました。

児童

読んだ本「あさいち」

こんなのにぎわっていたまちなのに、地震でひどいことになってしまったと思うと心がいたいです。

6年



児童

読んだ本「おねえちゃんていつもがまん!？」

この本を読んで、最初は姉の自分は、お母さんたちを妹が全部奪っちゃって、自分の立場所がなくなってしまうような嫌な気持ちになるけど、本当はしっかりと、妹を想う気持ちもあるんだなと、姉の立場に共感しました。

児童

読んだ本「大ピンチずかん」

この本にはピンチ度が書かれていて、私のピンチものっていました。あなたはどれがピンチ？

児童

読んだ本「包装紙のひみつ」

包装紙がなかったら、物を持って帰るだけでも大変だということがわかりました！包装紙に感謝しないといけないと思いました。

